

令和元年度スマートインターチェンジ設置検討業務に関する 報告について

1 検討業務の概要

(1) 目的

常磐自動車道の千代田パーキングエリアへの設置を計画しているスマートインターチェンジの整備に向け、平成30年度に実施した設置可能性調査の結果を受け、計画を具体化するとともに、関係機関との協議を進めるものである。



(常磐自動車道千代田パーキングエリア付近)

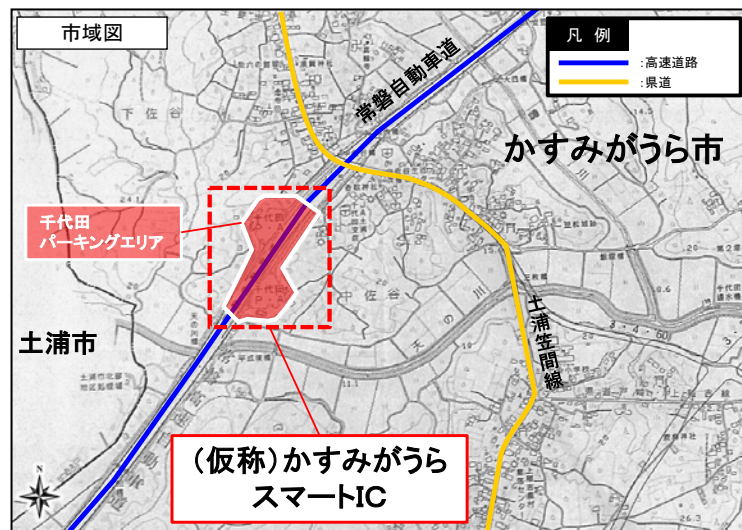
(2) 委託業者

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
茨城県つくば市竹園二丁目10番8号

(3) 委託期間

令和元年5月15日から令和2年3月13日まで

(4) 委託費 8,140,000円(消費税含む)



2 社会便益

かすみがうらスマートインターチェンジの整備による社会便益は次の通り。

(1) 物流効率化

- ・ 西山工業団地からつくばジャンクションまでの所要時間が最大で約13分短縮
- ・ 市内の各工業団地から常磐自動車道へのアクセス性が向上し、製品出荷額の向上に寄与

(2) 観光振興への寄与

- ・ 東京方面から千代田パーキングエリア周辺の果樹園等までの所要時間が最大で約10分短縮

(3) 地域住民の常磐自動車道へのアクセス性向上

- ・ 市外への通勤・通学者の利便性向上に寄与

(4) 一般国道6号の渋滞緩和

- ・ 国道6号の交通渋滞の緩和、交通事故の減少が見込まれる

3 整備前後における交通量推計

近接インターチェンジの出入交通量の合計は、令和12年における未整備時の推計22,500台/日に対して、整備後に23,100台/日となり、約600台/日増加する。

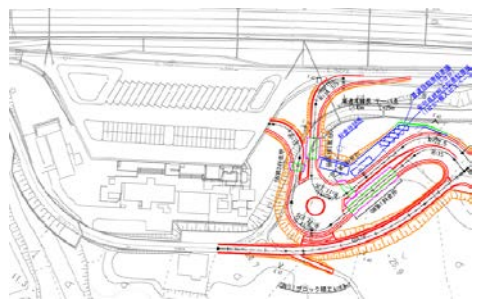

○近接ICの出入交通量（令和12年推計）

（単位：台/日）

路線	IC名	未整備 (a)	整備後 (b)	交通量差 (b-a)
常磐自動車道	千代田石岡IC	8,700	8,600	△100
	(仮称)かすみがうらスマートIC	—	1,900	1,900
	土浦北IC	13,800	12,600	△1,200
合計		22,500	23,100	600

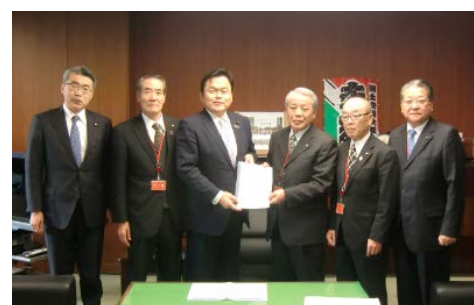
4 概略検討

料金所の管理や千代田パーキングエリアの駐車場内の安全性の考慮、さらにアクセス道路の改修範囲を極力抑えるため、千代田パーキングエリアの県道64号線（土浦笠間線）側にスマートICを設置する概略レイアウトにて、東日本高速道路株式会社その他関係機関と引き続き検討を進める。

区 分		上り線〈東京方面〉	下り線〈水戸方面〉
計画概要	平面図		
	形状	集約型料金所	
管理形態	運用時間	24時間	
	対象車種	ETC車載器を搭載した全車種	
	利用形態	フルインター形式	

5 スケジュール

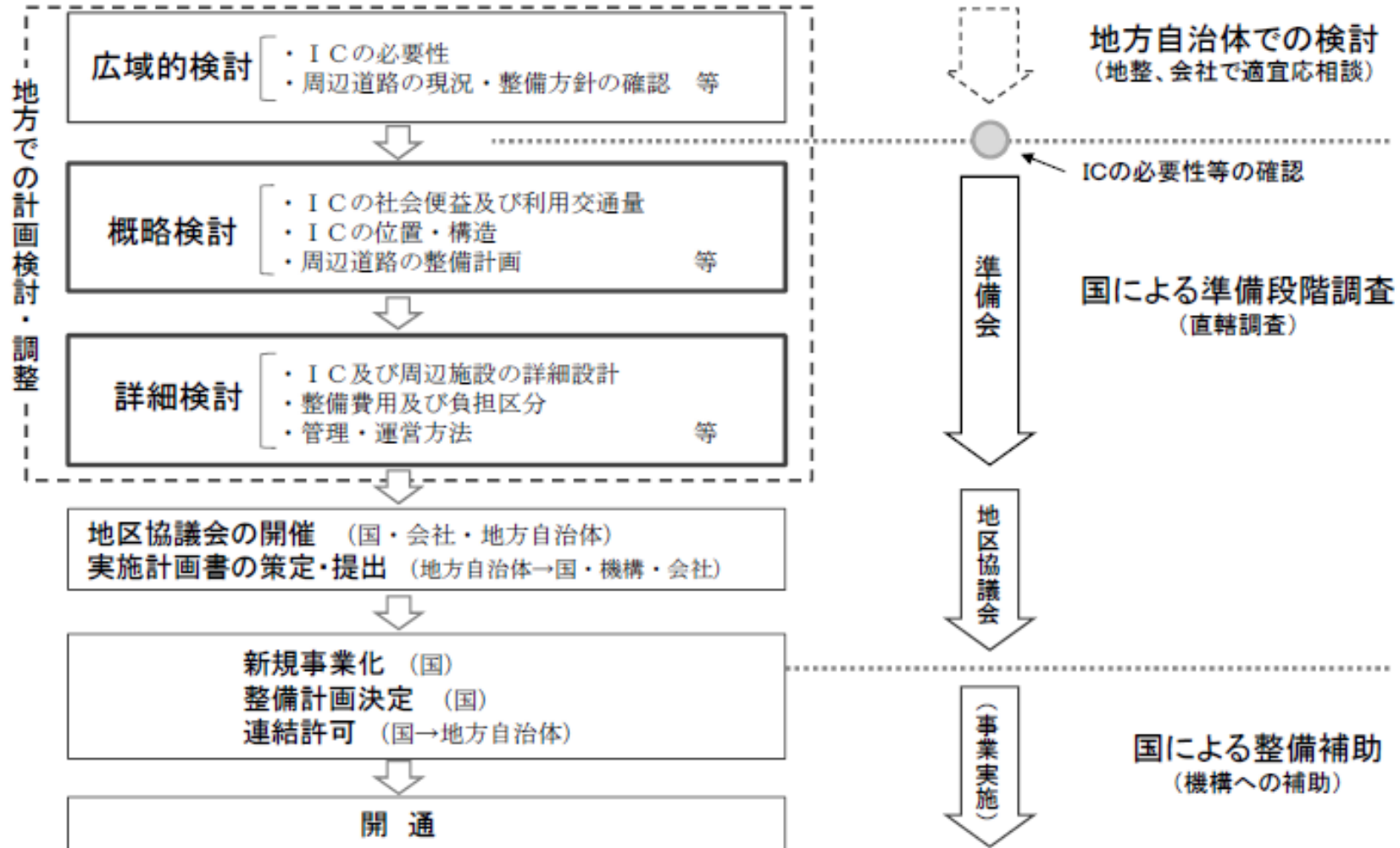
- | | |
|---------|--|
| 令和元年度 | スマートIC設置検討業務
赤羽国土交通大臣陳情 |
| 令和2年度 | スマートIC実施計画策定業務 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 関係機関との調整 ▷ 実施計画書（案）の作成 |
| 令和3年度以降 | 準備段階調査採択 <ul style="list-style-type: none"> ※ 国として必要性が確認できる箇所等について
国の判断により採択され実施される調査 新規事業化 |



（ R2. 2. 10 赤羽大臣へ陳情 ）

スマートインターチェンジの検討・整備について

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



令和2年度 事業委託内容

- ・スマート IC・アクセス道路・平面交差点予備修正設計、実施計画書（整備効果・交通量推計）素案作成、関係機関協議

令和2年度関係機関との協議実績

R2. 5. 22	常陸河川国道事務所	整備効果資料見直し
R2. 6. 2	土浦警察署	県警本部事前協議
R2. 6. 23	県警本部	交差点予備設計協議、交通量、アクセス道予備設計、標識、環道設計協議
R2. 6. 24	NEXCO 東日本	概算事業費、交通量推計見直し
R2. 7. 2	関東地方整備局	概算事業費、スケジュール見直し
R2. 8. 27	NEXCO 東日本	概算事業費見直し（実勢単価入替）
R2. 9. 16	県警本部	交差点予備設計再協議
R2. 11. 4	県土木部	概算事業費、予備設計見直し
R2. 11. 13	NEXCO 東日本	概算事業費、交通量推計、スケジュール見直し
R2. 12. 15	県土木部	概算事業費、予備設計、交通量推計再協議

※上記は直接訪問における協議実績であり、コロナ禍において、その他の協議は年間を通してメールや電話で行い、その都度、交通量、設計、概算事業費の精査を委託事業者に指示している。

令和3年度

国の準備段階調査の採択に向け、引き続き関係機関との協議において、予備修正設計、実施計画書素案の精度を高めます。